

おやがく 親学

子どもたちの
健やかな成長を
願って…



あい・あい・あいさつ活動
マスコットキャラクター「あいもん」

親学とは…



名古屋市教育委員会では、「子どもにとって親はどうあるべきかを考え、子どもとともに親として成長する楽しさなどについて学ぼうとすること」を「親学」として推進しています。

← **えっと・なごや** の動画『楽しく学ぼう「親学」』

親学 4本の柱

ふれあい

地域のきずな

生活習慣

思いやり



「目指せコンプリート!!

子ども110番の家スタンプラリー」

「親学アクション」活動フォトコンテスト

令和5年度 最優秀賞 当知小学校PTA

いざという時に駆けこめる子ども110番の家にキーワードを設置。スマホやゲームから離れ、体を動かし、実際の場所を確認。

親子での協力は絆を深め、楽しみながら防犯意識も向上。会話も弾み、笑顔も増えました。

もくじ

P1～2 親子で ともに学んでみませんか
「とも学び」ノススメ

P3～4 ご存じですか？ ナゴヤ学びのコンパス

P5 おおきなあれ！～幼児期の子どもたち～
テーマ：親子でともに学んでいくには

P6 心のSOSを受け止めて
ケータイ・スマホ 名古屋市のおすすめルール
手をつなごう 心もつなごう「家庭の日」

巻末 「親学アクション」活動フォトコンテスト
入賞作品 巻頭・巻末

ふれあい

地域のきずな

生活習慣

思いやり

親子で ともに学んでみませんか 「とも学び」ノススメ



親子で一緒に学ぶことを「とも学び」として提唱します。皆さんも「とも学び」の機会を設けて、子どもとともに親として成長する楽しさを味わってみませんか。



「とも学び」とは

「とも学び」とは、「親と子が一緒に学ぶこと」です。「学び」といっても堅苦しく考える必要はありません。親子が一緒に楽しめる、趣味や実技の内容のものも「とも学び」です。

「とも学び」には、さまざまなメリットがあります。例えば、以下のものが挙げられます。

- 親子で一緒にいる時間が増える
- 共通の話題ができ、親子のコミュニケーションが増える
- 互いのことがよく分かるようになる など

「とも学び」の4パターン

「とも学び」には、以下の4パターンがあります。

- ① 子どもが好きなものに、親が合わせる形で一緒に学ぶ
- ② 親子がともに好きなものを一緒に学ぶ
- ③ 親が好きなものを子どもと一緒に行うことで関心を高め、一緒に学びあう
- ④ 親も子もはじめて挑戦するが、親子ともに関心のあるものを学ぶ

例えば、

子どもの昆虫好きに
付き合っているうちに...



ふれあい

私も 昆虫好きになり、
今では 家族で 昆虫採集に
出かける ほどになりました。

思いやり

ふれあい

休日も早起きして、
娘のリコーダーと
セッションする
ようになりました。

生活習慣

父の音楽好きに
子どもが感化されて...



「とも学び」…まずは「お出かけ」から

「とも学び」をはじめるにあたり、まずは、自宅を離れて、親子で一緒にどこかへ出かけてみましょう。

例えば、書店や図書館に出かけることで、家読（うちどく）（p2参照）などの学びにつながっていくかもしれません。

「とも学び」のお出かけ先 情報

なごやの公園緑地（名古屋市公式ウェブサイト）

市内の主な公園緑地やその利用についての留意点などが掲載されています。

公園緑地を検索できるアプリ「PARKFUL（パークフル）」のダウンロードもできます。



名古屋市公式観光情報「名古屋コンシェルジュ」

市内や周辺地域のイベントやおすすめスポットの情報が掲載されています。

観光デジタルマップでは、AIが興味・関心に沿った提案をしてくれます。



「とも学び」事例紹介

趣味・実技など、親子で楽しく学べる内容のものがおすすめです。

事例①「スポーツ」

キャッチボール、体操などなど...



事例②「工作」



事例③「家読（うちどく）」

「家読」とは、家族や身近な人と本を読んで感想を話し合ったり、好きな本をすすめ合ったりするなど、読書を通じて、コミュニケーションを図り、家族の絆を強める取り組みです。



事例④「映像視聴」

映像を視聴して、感想を話し合います。



事例⑤「昆虫採集」「自然観察」



事例⑥「音楽演奏」



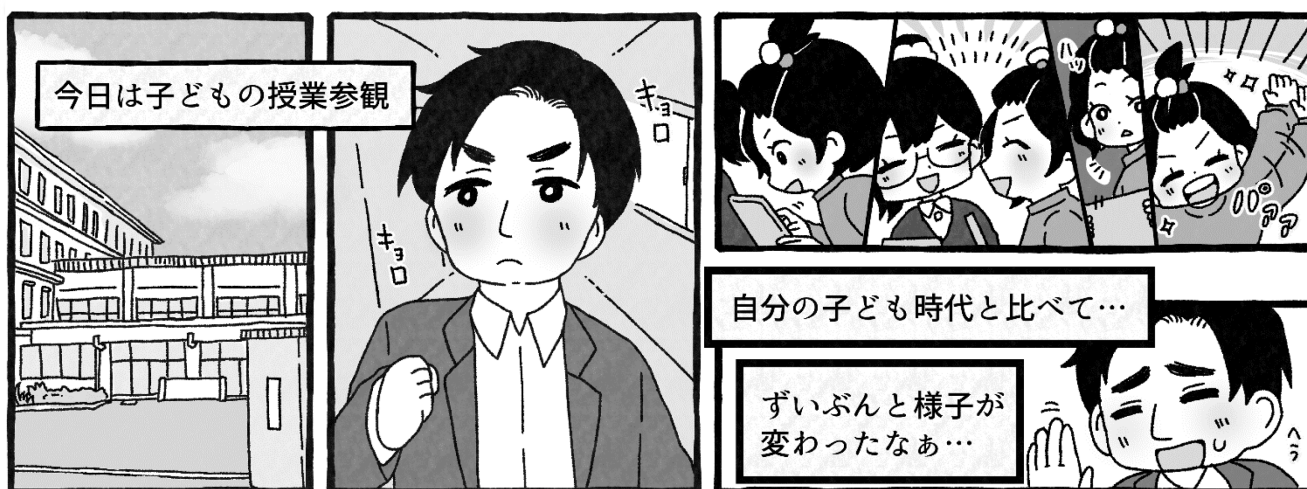
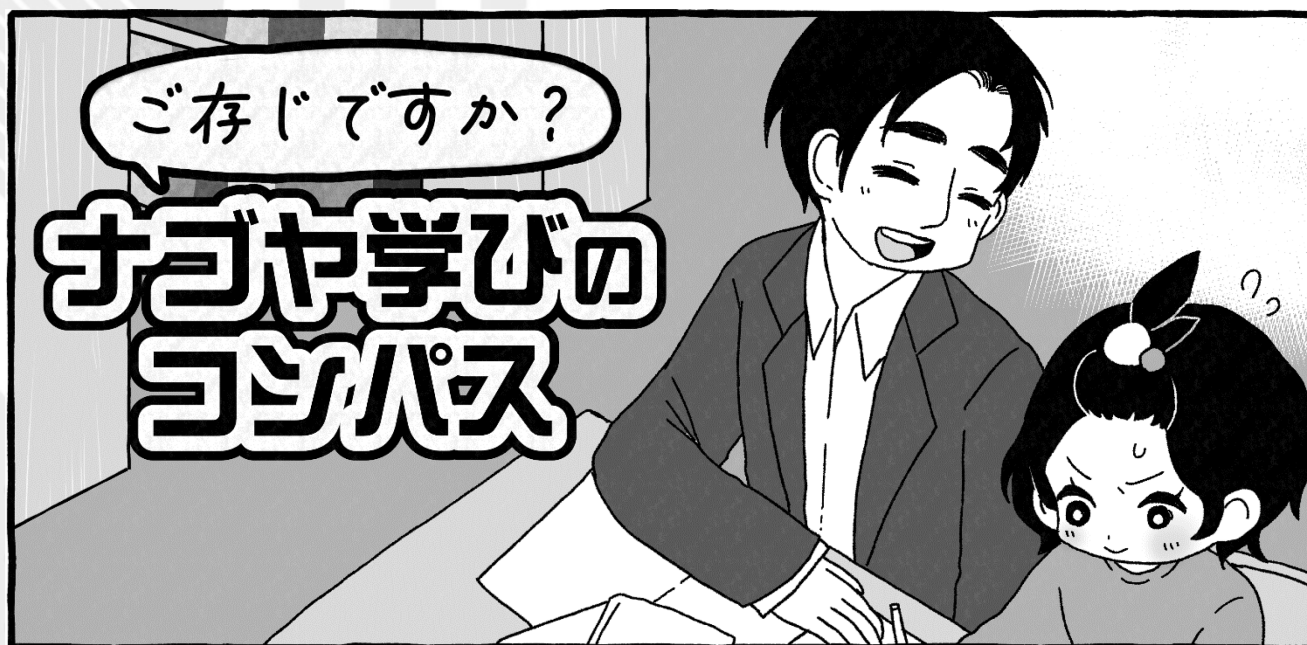
事例⑦「ダンス」

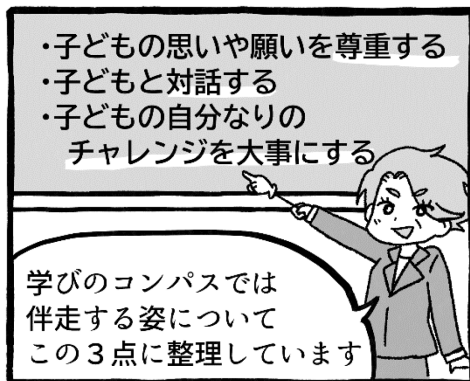
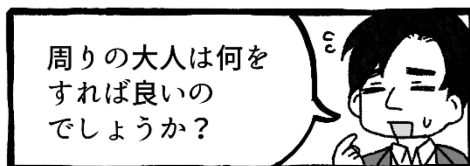


事例⑧「ボードゲーム」



親と子がそれぞれ関心のあるものを取り上げることが、学びを楽しく、長続きさせるコツです。皆さん、ぜひ取り組んでみてください！





おおきくなあれ！

～幼児期の子どもたち～

テーマ：親子でともに学んでいくには

親子でともに学んでいくためには

愛知教育大学 教授 樋口 一成

日頃、親子で学ばれるときのことを思い出してみてください。目の前にあることについて、短時間の中で子どもたちに答えを求め過ぎたり解答を教え過ぎたりされてはいませんか。せっかく親子でともに学ばれるのであれば、まずは子どもたちが興味や関心をもっていることから、ともにゆっくり学ばれてはいかがでしょうか。そうすると、きっと子どもたちの方が詳しいことも出てきます。そのときには、普段の立場を逆にして、子どもたちから学んでみてください。子どもたちは、教えること・話すこと・伝えることが楽しくなって、さらに自ら調べたり深く学んだりしようとするでしょう。子どもたちが受け身ではなく、自ら能動的に学びに向かうことは、子どもたちのその後の学びにおいてとても大切なことです。



また一方では、親子で一緒に問いや疑問を探してみてもいいでしょう。親子でともに学んでいくということを、答えを求める機会ではなく、学びを生み出す機会と捉えてみましょう。一緒に問いを考えたり疑問をもったりすることから始めて、一緒に答えをあれこれと探ってみてもいいでしょうか。答えを探る過程では、いろんな考え方があることや答えが一つではないことに気付くかもしれません。また新たな問いや疑問が生まれるかもしれません。そこでは、子どもたちの学びが深まり、さらに学ぶことが面白くなっていくことでしょう。

限られた親子の時間でともに見る・感じる

名古屋市立植田幼稚園
保護者 池浦 加菜

『母親約7年6か月、父親約3年4か月』この数字はテレビ番組で紹介された生涯わが子と一緒に過ごせる時間だそうです。この限られた時間の中でわが子の成長を身近で見守り、親子でともに見て感じ合える時間はどのくらいあるのだろうと思い、焦り寂しく感じましたが、その事に気付き始めた時が親学なのだと思います。子どもの視点は私には気付かない角度から物事を見ており、話を聞いて面白いと思うことが多々あります。小さな頃の思い出を話すと「えっ！そんなこといったの？」と恥ずかしそうに答えます。私は、この何気ない時間がとても大切に好きな時間です。そんな限られた時間だからこそ、親子でたくさん見て・感じることをいっぱいしたい。そして成長した我が子に「あの時、こうだったんだよ...」といったことを楽しみに、今を精一杯親子で楽しみたいと思います。



子育て Q&A

親子で一緒に何かをするとき、子どもの様子を見てハラハラしてしまい、つい待ちきれなくなって、手伝ってしまうことがよくあります。親としてどのように関わったらよいのでしょうか。

料理や工作、スポーツなど、親子で一緒にすることで共通の話題ができ、コミュニケーションが深まります。しかし、マイペースな我が子の姿や危なっかしい様子について口や手を出してしまう、そんなこともあるでしょう。大人は「できた姿」を思い浮かべ、子どもがその姿に近づくよう先回りして声をかけてしまいがちです。一人一人ペースも違えば得意不得意もあります。子どもが自分なりに考え、自分のペースややり方で動き出そうとしている姿に寄り添い、見守っていきましょう。そして、子どもが今どんな気持ちでいるのかについて思い巡らせ、「面白いな」「不思議だな」と感じていることに共感していきましょう。時間が経っても、その過程を親子で楽しむことで、自分で「できた」「分かった」経験ができ、次への「やりたい」につながります。ぜひ親子で色々なことに挑戦してくださいね。



名古屋市教育委員会 義務教育課・特別支援教育課・高等学校教育課

(所属名等は寄稿当時の情報です)

心のSOSを受け止めて

子どもの心のSOSは、何気ない発言や態度に現れることがあります。こうした変化に気づくために、普段から子どもの様子に目を配ることが大切です。

もし、子どもが、いじめを受けたり、いじめにかかわっていたりしていることが分かったら、すぐに学校などに相談しましょう。大切な子どものことになると、大人も感情的になってしまいがちです。まずは落ちついて冷静になりましょう。そして、子どもの立場になって、人を傷つけてしまった時の心の痛みや傷つけられた時の苦しみを、一緒に考えてみてください。

また、世の中には、様々な差別や偏見があります。差別・偏見に対しては、私たち大人が、しない、許さない、という姿勢をきちんと示していく必要があります。

e-ねっと*なごや
「ネット・スマホの利用を
子どもと一緒に考えよう」
をチェック！

ケータイ・スマホ 名古屋市のおすすめルール

- ◆ 家で利用する時間は、夜9時までにはします。
(親に預けます)
- ◆ 食卓に持ち込みません。
(電源OFFにします)
- ◆ ケータイ・スマホで、人の悪口や個人情報を書き込みません。
- ◆ ケータイ・スマホを使わない人を仲間はずれにしません。
- ◆ 知らない相手にメール等を返信しません。



★名古屋市子どもの権利相談室「なごもっか」★

「なごもっか」は子どもの権利を守るための相談室です。子どもの権利のついて心配なことがあるときは、なんでもご相談ください。

子ども専用フリーダイヤル TEL 0120-874-994

大人相談用電話番号 TEL 052-211-8640

※子どもの権利に関わることであれば、大人も相談できます。



★相談窓口のご紹介★

様々な悩みなどは、一人で抱え込まずに相談することが大切です。学校の先生や親類、友人の協力や、子育てを応援・サポートしてくれるシステムなどを積極的に活用しましょう。

「ハートフレンドなごや」では、名古屋市にお住まいの幼児から高校生年齢までの子ども本人、その保護者、学校関係者等から、子どもの教育・養育上の問題に関するあらゆる内容について相談に応じています。

教育相談は「ハートフレンドなごや」で実施しています。(TEL 052-683-8222)



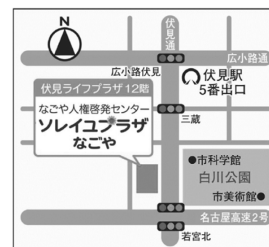
なごや人権啓発センター ソレイユプラザなごや

ソレイユプラザなごやでは、高齢者や妊婦、車いす等の疑似体験やタッチパネルでの学習などをとおして、身近な人権について気づきかけを提供しています。

また、土・日・祝日に、子ども向けじんけんワークショップやパラスポーツ体験デーも開催しています。親子で楽しみながら人権について学ぶことができます。

ぜひ、ご来館ください。

詳しくは
こちらをチェック



●所在地：中区栄一丁目23番13号伏見ライフプラザ12階

●お問合せ TEL：052-684-7017 FAX：052-684-7018

E-mail：a6847017@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

HP-URL：https://www.jinken.city.nagoya.jp/

手をつなごう心もつなごう 家庭の日

毎年、「家庭の日」普及・啓発作品の募集を行っています。

園児等の図画作品募集については、夏に名古屋市公式ウェブサイトでお知らせしています。市立小中学生のポスターの作品募集は、各学校を通じてご案内しています。たくさんのご応募お待ちしております。

名古屋市の
「家庭の日」
について



これまでの入賞・入選の作品

※学年等は応募当時のものです。



令和5年度 園児の部 入選

第二幼稚園 年中
銭井陽丸さんの作品



令和5年度 小学生の部 最優秀賞

春日野小学校 1年
市岡史帆さんの作品



令和5年度 中学生の部 最優秀賞

神沢中学校 3年
宮田よつ葉さんの作品



これまでの入賞作品

「親学アクション」活動フォトコンテスト



「親子で話す時間を作る」をテーマに、ビンゴカードを作成しました。「ビンゴ!」という歓声と笑顔があふれ、親子で楽しみながら取り組むことができました。親子の会話も増え、子どもの新たな一面や成長を知る機会になりました。

「目と目を合わせて会話しよう～お話ビンゴ～」

令和5年度 優秀賞 笠寺小学校PTA



冷たいご飯に冷たいカレーで半信半疑の子どもたちでしたが、食べてみてそのおいしさにビックリ!ペロリと食べてしまいました。地震や災害は怖いけれど、

冷たいカレーの意外なおいしさを発見しました。

「つめたいカレーもおいしいね!」

令和5年度 優秀賞 中根小学校PTA

想いをカタチへ! ランドセル リメイク

ご卒業後もず～っと一緒

before

after

instagramで話題!!

楽天市場店: 詳細はこちら

選べるリメイクお財布付きセット ... 15,800円(税込)



大きなランドセルを背負って登校した一年生。
今ではランドセルが小さく感じるほど成長した子ども達。
つぎの桜が咲くころには、その6年間の様々な思い出が宝物に。
私たちの子育てはまだまだ続きますが、
小学校の思い出は、このお財布たちに詰め込んで・・・

お客様のリメイクランドセルを
instagram 内にてご紹介
@kabanaskal



Askal カバン工房
Randosel Remake store

TEL:0586-58-4531

(平日: 10時～15時 休み: 土日祝日)

mail: kabanaskal@wh.commufa.jp

Askal カバン工房

〒494-0012

愛知県一宮市明地字西七丁原 32-1